

## ◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が3,654例あり、本年の累積報告数は81,639例となりました。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。  
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(20歳代女性)ありました。症状は腹痛、水様性下痢、発熱で、感染地域は国内です。本年の累積報告数は3例となりました。  
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。  
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代男性)(第14週追加報告分)あり、本年の累積報告数は10例となりました。
- 梅毒の報告が3例(20歳代男性1例及び20歳代女性2例)あり、感染経路はいずれも性的接触です。本年の累積報告数は26例となりました。  
京都市では、平日及び土日の昼間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を予約制で実施しています。詳細については、下記のホームページをご覧ください。  
○京都市情報館「京都市のHIV検査について」  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000271215.html>
- 小児科定点把握感染症は、前週までと大きな変化はなく、発生数は低く推移しています。

## ◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

今シーズン(2021/22シーズン)に京都市内69箇所のインフルエンザ定点医療機関から報告されているインフルエンザは、現在のところわずか5例です。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 月報の掲載について

今週は、月ごとに報告のある性感染症と薬剤耐性菌感染症について、2022年3月分の本市の状況をとりまとめ、「京都市感染症月報」として掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

(性別、年齢、症状、感染地域<sup>\*</sup>、感染経路<sup>\*</sup>の順に掲載。ただし、結核は除く。)

- 二類:結核 12例(肺結核 10例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 4例  
【1月以降の累積報告数 63例(肺結核 34例, その他結核 15例, 潜在性結核感染者 14例)うち喀痰塗抹陽性 11例】
- 新型コロナウイルス感染症 3,654例【1月以降の累積報告数81,639例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例【1月以降の累積報告数10例】
- 五類:梅毒 3例【1月以降の累積報告数 26例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

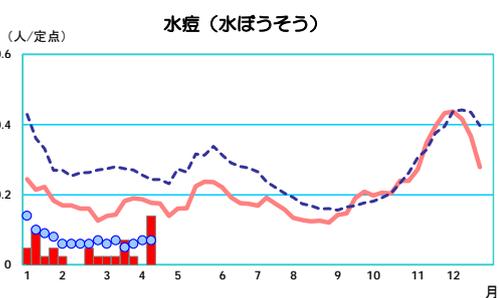
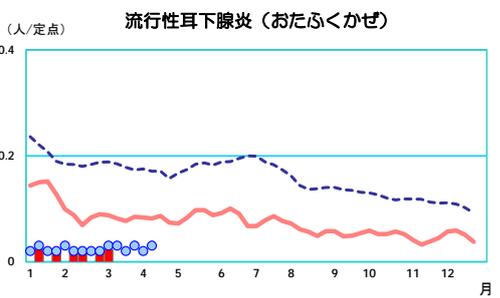
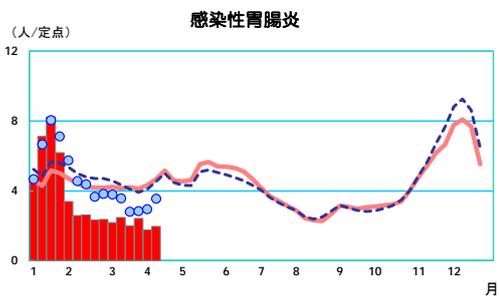
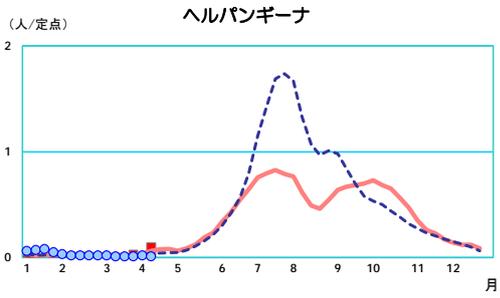
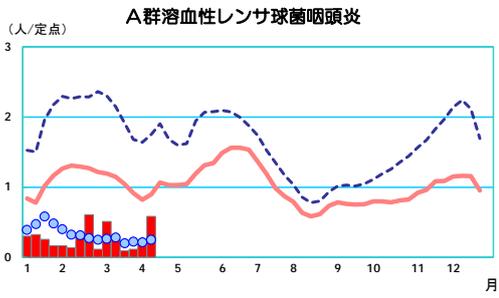
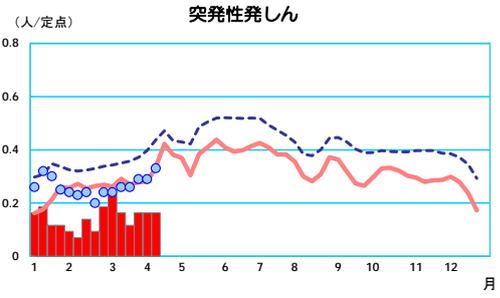
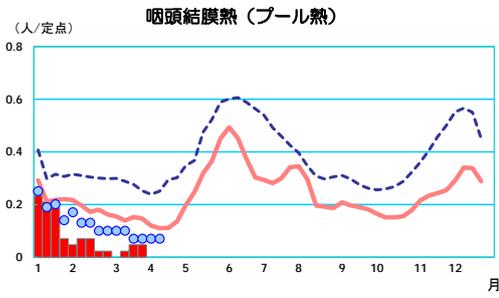
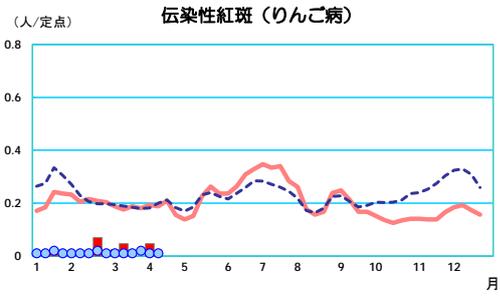
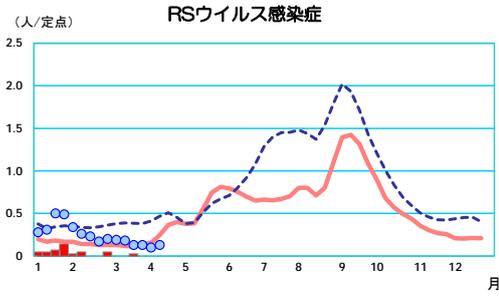
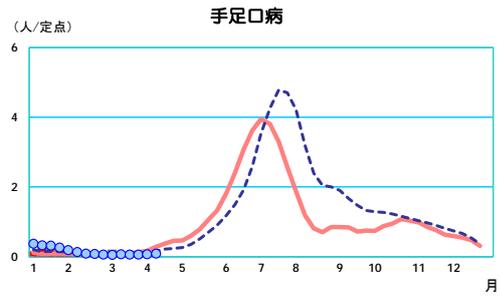
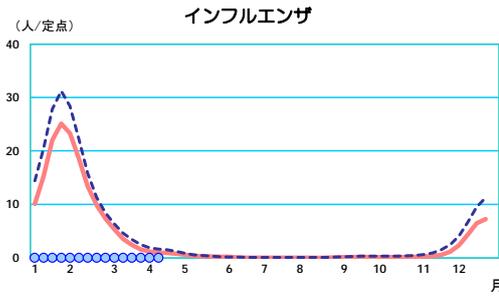
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.95	84
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.58	25
	③ 突発性発しん	0.16	7
	④ 水痘	0.14	6
	④ ヘルパンギーナ	0.14	6
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

## 【次ページ以降の主な内容】

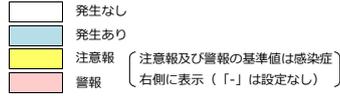
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <インフルエンザ>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数 / 結核の月まとめ)

(注)京都市のデータは、2022年4月20日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。  
<sup>\*</sup> 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

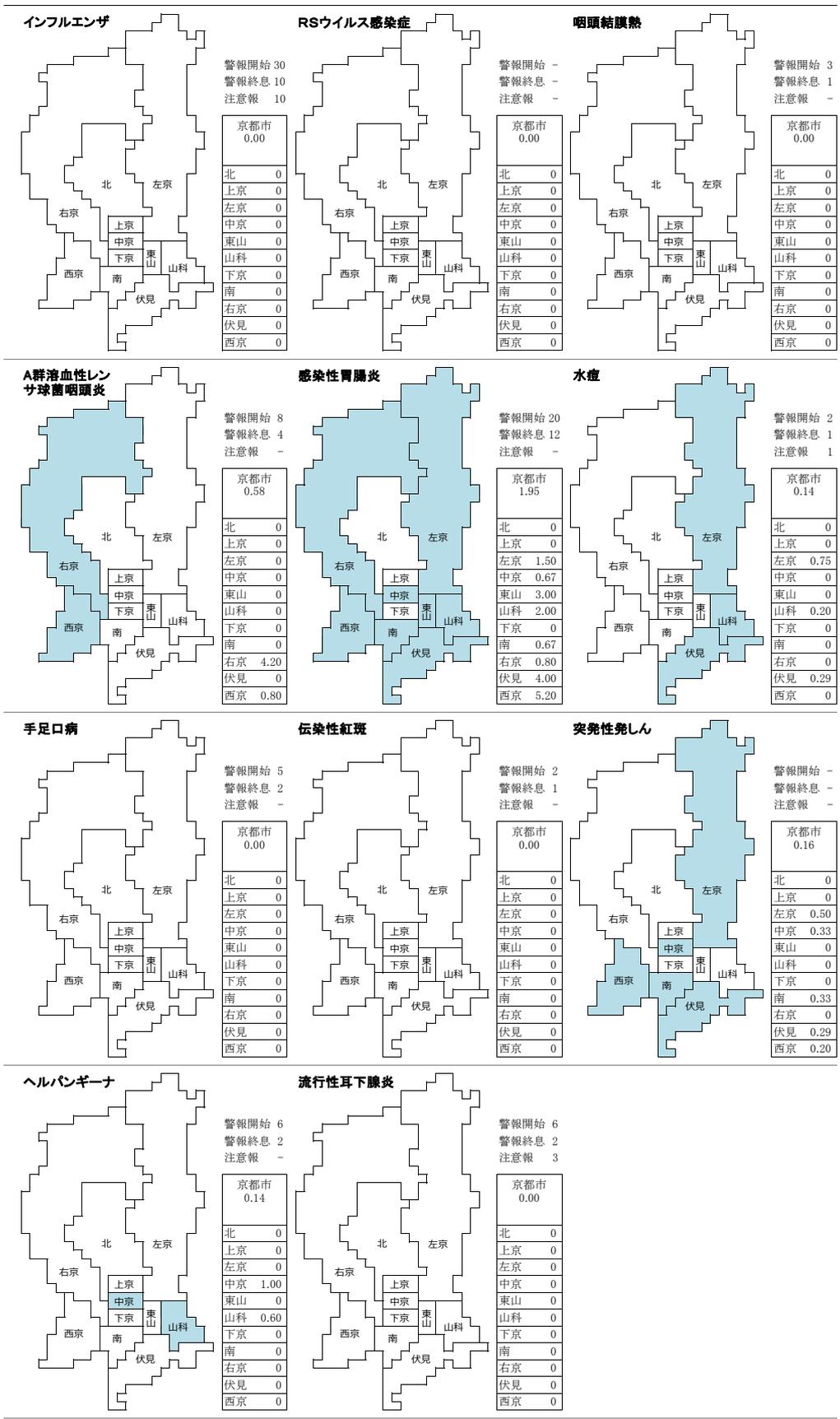
インフルエンザ<sup>※</sup>及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2022年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2022年第15週】



定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。  
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の立地条件や  
 規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



## 第15週(4月11日～4月17日)トピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザは感染症法で5類定点把握感染症に指定されており、インフルエンザ定点医療機関として京都市では69箇所、全国では約5,000箇所が指定されています。

インフルエンザは冬季に流行することが多く、1月から12月の暦年で推移を観察すると、年区切りと流行期が重なり動向が把握しにくいことから、第36週(9月上旬)から翌年第35週(8月下旬)を年単位として発生動向を観察することが一般的で、「2021/22シーズン」などと表記されます。

これまでの発生動向は京都市と全国でよく似ています。2012/13から2019/20シーズンは第5週頃(1月下旬)にピークを迎えることが多く、注意報あるいは警報の基準値に達していました。しかし、昨シーズン(2020/21)及び今シーズン(2021/22)は、それまでと全く異なる推移を辿っています。報告がほとんど無く、京都市の累積報告数は昨シーズンが11例、今シーズンは第15週まででわずか5例です。ピークの形成は無く、注意報にも至りませんでした(表及び図1、2)。

発生がこれほど急激に減少した理由は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、手洗い・咳エチケット等の衛生行動が浸透したことも一因と考えられます。現在発生がほとんど無い状況であっても、インフルエンザ自体が消滅したわけではなく今後も流行の可能性はあるため、引き続き動向を把握することは重要であると考えられます。

表 京都市及び全国のインフルエンザ流行状況推移

	2012/13	2013/14	2014/15	2015/16	2016/17	2017/18	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22 (第15週迄)
京都市										
累積報告数	12,438	17,076	13,804	16,676	15,052	21,635	16,986	11,341	11	5
累積定点 当たり報告数	185.3	251.0	203.0	244.9	218.1	313.6	246.2	164.3	0.1	0.1
ピーク週	第5週	第5週	第52週	第7週	第5週	第5週	第4週	第52週	ピーク無し	
ピーク時定点 当たり報告数	31.2	37.2	28.6	32.4	29.6	47.6	47.7	18.3	-	-
全国										
累積定点 当たり報告数	239.3	301.7	290.6	322.6	309.6	406.2	317.0	203.8	0.2	0.1

図1 京都市及び全国の長期推移 (2012/13～2021/22シーズン)

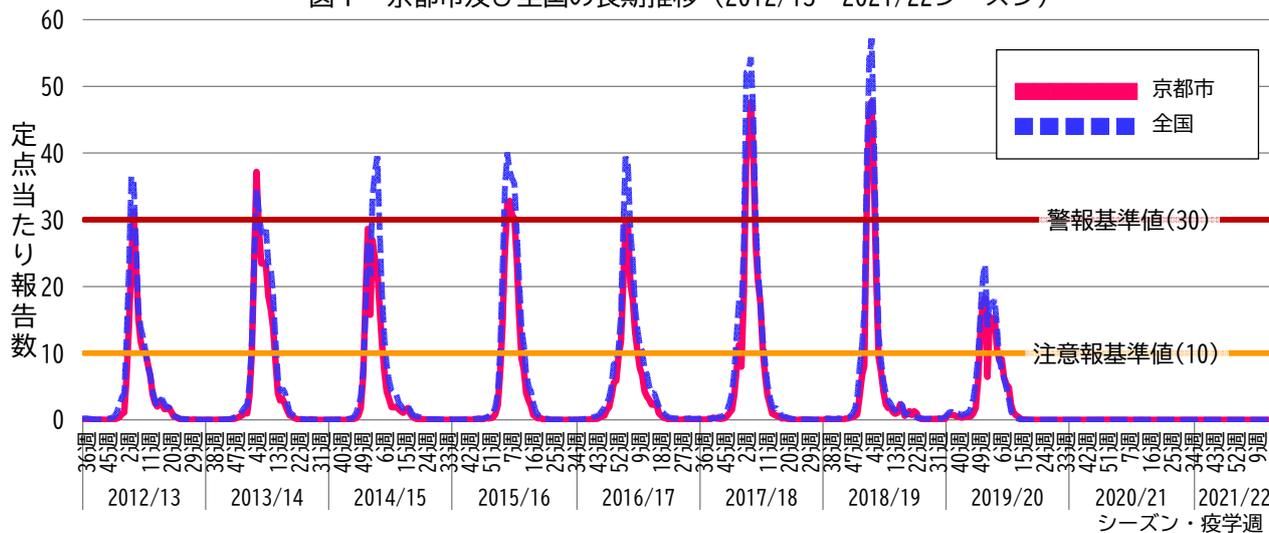
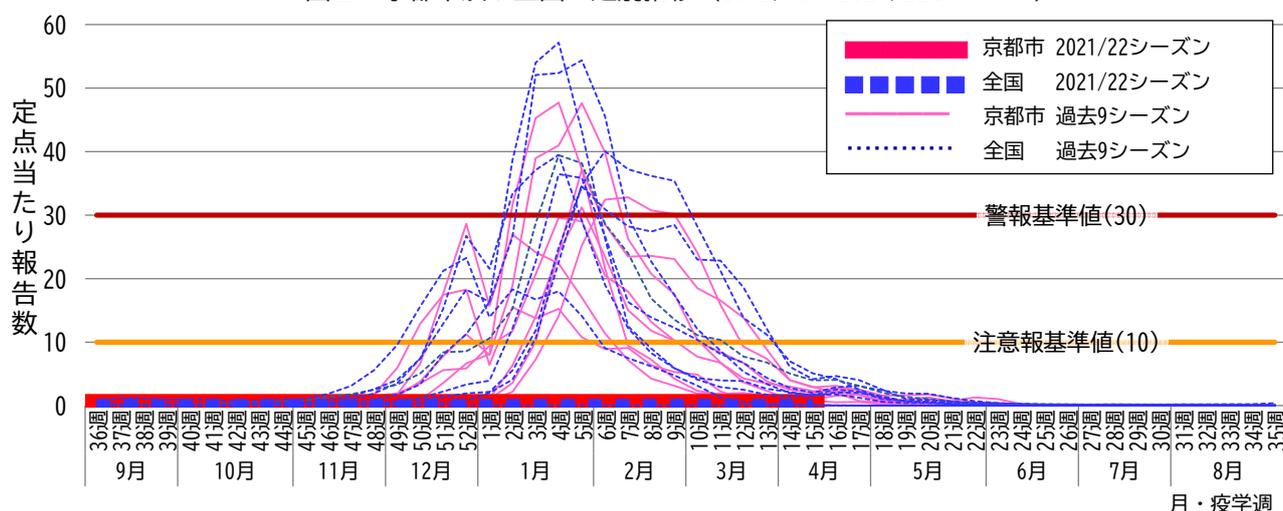


図2 京都市及び全国の週別推移 (2012/13～2021/22シーズン)



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第15週

疾病,行政区別報告数

2022年4月11日～2022年4月17日

データ入手日:2022年4月20日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	6	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	2	-	-	-	1	3	-	-	1	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	-	10	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	21	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	-	28	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	4	26	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	-	25	84	6	-	-	7	6	-	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	1.50	0.75	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	0.67	-	-	-	0.33	1.00	-	-	0.50	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	-	2.00	0.20	-	-	-	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	0.67	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	4.20	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	-	4.00	0.29	-	-	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	0.80	5.20	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	-	0.58	1.95	0.14	-	-	0.16	0.14	-	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第15週

年齢階級, 疾病別報告数

2022年4月11日～2022年4月17日

データ入手日:2022年4月20日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		25	1	-	3	6	2	1	3	1	2	1	1	2	-	2							
感染性胃腸炎		84	1	5	13	8	2	6	6	5	3	5	4	11	-	15							
水痘		6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	2	-							
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		7	-	1	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		6	-	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.58	0.02	-	0.07	0.14	0.05	0.02	0.07	0.02	0.05	0.02	0.02	0.05	-	0.05						
感染性胃腸炎		1.95	0.02	0.12	0.30	0.19	0.05	0.14	0.14	0.12	0.07	0.12	0.09	0.26	-	0.35						
水痘		0.14	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	0.02	0.02	0.02	0.05	-						
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.16	-	0.02	0.12	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.14	-	-	0.12	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第15週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2022年4月20日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	1	-	-	-
咽頭結膜熱	-	1	2	2	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	11	4	5	10	25
感染性胃腸炎	94	106	86	104	76	84
水痘	1	1	3	1	-	6
手足口病	8	1	-	1	-	-
伝染性紅斑	1	2	-	-	2	-
突発性発しん	10	7	5	7	7	7
ヘルパンギーナ	1	-	1	3	1	6
流行性耳下腺炎	1	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	1	4	1	1
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	139	129	103	127	97	129

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	0.02	-	-	-
咽頭結膜熱	-	0.02	0.05	0.05	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.51	0.26	0.09	0.12	0.23	0.58
感染性胃腸炎	2.19	2.47	2.00	2.42	1.77	1.95
水痘	0.02	0.02	0.07	0.02	-	0.14
手足口病	0.19	0.02	-	0.02	-	-
伝染性紅斑	0.02	0.05	-	-	0.05	-
突発性発しん	0.23	0.16	0.12	0.16	0.16	0.16
ヘルパンギーナ	0.02	-	0.02	0.07	0.02	0.14
流行性耳下腺炎	0.02	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	-	0.10	0.40	0.10	0.10
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	3.31	3.00	2.47	3.26	2.33	3.08

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。